

令和2年度 学校評価表(安来高等学校)

自己評価・・・達成指数100以上⇒評価A(目標達成)、達成指数80以上100未満⇒評価B(ほぼ達成)、達成指数80未満⇒評価C(不十分)

校訓	評価計画				自己評価				学校関係者評価		次年度への改善策			
	教育目標	重点目標	目標達成のための方策	担当分掌	評価指標	目標値	評価値	達成指数	評価	結果と課題		評価	委員からの意見等	
I きびしく自らを律す	1 基本的な生活習慣の確立と、自主・自律の人格育成	生徒の基本的な生活習慣を定着させ、自主性、社会性を強化し、人格形成に資する文武両道を実現させる	朝の立ち番による挨拶・遅刻予防指導、頭髪・服装指導、登下校の交通マナー指導等を通して、規則正しい生活習慣及び校則を遵守する精神を育成する。	生徒指導	服装・頭髪・挨拶の指導が適切に行われていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.4	3.3	96.8	B	服装・頭髪の指導については計画的に取り組むことができたが、名札の適切な扱い等については日常的な指導が必要だった。挨拶については新型コロナウイルス対策の観点から積極的に指導することができなかった。	B	名札について、校外では外すことも含めて指導をお願いしたい。挨拶に関しては、新しい挨拶の方法も考えてみてはどうか。引き続き指導をお願いする。	服装については継続して指導する。名札についても校外では外すことも含めて扱いについて指導する。挨拶は会釈するなど現状に応じた礼儀の示し方を指導する。	
			生徒会執行部や各種委員会の主体的な活動を促し、諸行事において達成感を抱かせる。	生徒指導	生徒が主体的に学校行事に参加したと感じている評価値(生徒)	3.8	3.8	99.2	B	体育祭や文化祭などの学校行事では新型コロナウイルス対策のため様々な制約があったが、生徒会と協議しながら企画・運営し、全校生徒も協力してある程度の達成感が得られた。いくつかの委員会には活動の機会が与えられたが、有効な活動ができていない委員会もあった。	B	学校行事等が縮小される中、工夫して実施されていた。	生徒の交通安全意識を高めるために、生徒会や交通安全委員会など生徒からの呼び掛けを行うとともに、生徒から危険な場所やヒヤリハットの事例を取り上げて注意喚起を行う機会を設ける。	
			保健活動・生徒支援組織の運営を適切に行い、生徒の健康な心身を育成する	保健相談	保健室での相談・手当・休養が健康の保持増進に役立ったと感じている評価値(生徒)	3.2	3.5	107.8	A	保健室の利用の多い生徒からの評価は高いと思われる。保健室を利用しない生徒に対してカウンセラー事業の意味や役割、さらに保健健康情報を伝えていきたい。	A	昼食後の歯磨きによって口腔衛生感染予防してはどうか。スクールソーシャルワーカーの活用も検討すべきである。	昼食後の歯磨きについては、手洗い場所自体が少なく、密になりやすいため推奨はできないが、感染予防対策は逐次進めたい。また、SSWの活用は常に意識している。検討すべき事案があれば、すぐにも動ける。	
			学習記録帳を活用した日々の指導を継続的にし、3点固定(起床時刻・学習開始時刻・就寝時刻)を定着させる。	教務	11月の学習時間調査の結果から1週間の学習時間が1200分を超える割合(生徒)	100%	64%	64.0	C	部活動のない期末試験直前の調査結果であるにもかかわらず、目標と大きく離れた達成度であった。個々の生徒を見れば十分に学習している生徒も多い反面、3分の1の生徒は最低限の学習時間を確保できていない。	B	定期試験中に限らず、平常時の生活習慣、学習習慣の確立をお願いしたい。学習時間の目標を生徒に設定させてみてはどうか。	年5回の生活時間調査だけでなく、「学習記録帳」を活用して、担任が生徒の学習状況を目視して把握し、生徒の実情に応じた目標設定を行えるようにする。	
	2 自ら学ぶ態度の育成と、学習指導の充実・強化	授業を充実させるとともに生徒に自学自習力を付けさせ、確かな学力を獲得させる	自立した学習態度を身につけさせる。	教務	十分な学習時間が確保されていると感じている評価値(保護者)	3.5	2.8	78.9	C	達成指数は昨年度とほぼ同じ数値が出ており、低調な結果が続いている。部活動との両立だけでなく、スマートフォンやテレビ視聴に費やす時間の縮減と、日々の学習や定期試験に向かう意欲の醸成が必要である。	B	文武両立の実現を目指して、引き続き自立した学習態度を身につけさせてもらいたい。	自立した学習ができるようになるために、日々の授業の復習や予習として取り組むべき内容を、具体的に示すようにする。	
			生徒が学習と諸活動との両立ができるよう、教科担当や部顧問、生徒会顧問との連携を密にする。	生徒指導	文武両立を目指した学習指導や部活動指導が行われていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.5	3.2	92.0	B	各部活動顧問と学年部とが連携して学習指導や部活動指導が行われていたが、一方で保護者から学習への取組に対する不安を感じる旨の意見もあるため、各部顧問に活動計画を明示して計画的に学習に取り組めるようにした。	B	学習時間と部活動の活動時間のバランスを自己理解させる必要がある。部活動については活動計画に沿って実施してもらいたい。	各部で年間活動計画を作成し、学校HPに掲載するとともに、各月の活動計画を生徒・保護者に知らせることで、生徒が計画的に学習できるようにする。部顧問には活動計画に沿った実施を促す。	
	II 目標と信念を高く持ち	3 ハイレベルの文武両立。目標高く邁進する生徒と教師	生徒の基本的な生活習慣を定着させ、自主性、社会性を強化し、人格形成に資する文武両立を実現させる	部活動加入率を向上させ、地域と連携した活動と上位大会出場を推進する	生徒指導	部活動に加入している割合(生徒)	95%	84%	87.9	B	1年生にとっては入学後早々に休業となったため、1年生の部活動加入率は83.5%で昨年度84.2%からやや減少した。	B	社会文化活動をカウントすることで、より積極的に活動するのではないかと、活動状況をさらにアピールしていくべきである。	新入生に対して部活動紹介とともに4月での入部を促していく。現状を正しく把握するために校外での社会体育活動、社会文化活動の状況についても調査する。
				人権意識を基盤とした個に応じた進路保障を推進する	進路指導	生徒の進路指導がされていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.5	3.2	91.4	B	学校推薦型選抜、総合型選抜における定員増への対応が十分でなかったかもしれない。出願要件を満たさないケースもあり、3年間じっくり育て上げる指導の重要性を感じた。個別指導の割り振りが遅れて生徒を悩ませることがあったので、速やかな対応が必要であった。	B	小論文、面接指導は3年生になってから個別のみで実施しているのか。3年間を通して計画的に実施してもらいたい。また、マナー講習を実施してはどうか。	小論文指導に関しては、1、2年次から総合的な探究(学習)の時間に計画的に行っている。3年次は志望理由書の書き方にポイントを絞って行っている。進路希望に合わせた個別指導と共に充実させていきたい。
保護者、地域、大学等との連携によりキャリア教育を充実させる		進路指導	総合的な学習の時間を活用し、上級学校訪問・職業人講話をはじめとする体験活動を積極的に実施する。	3.5	3.0	85.7	B	キャリア教育が進路決定や文理選択に役立ったと感じている評価値(生徒)	B	今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で十分な活動が実施できなかったこと。次年度は是非、体験活動に積極的に参加できる計画を立ててもらいたい。	先方の受け入れ状況が整えば、例年通り、看護体験などの案内を行いたい。「上級学校ガイダンス」に関してはさらに規模と内容を充実させていきたい。			
III 美しく豊かに生きる	4 学校全体が動くキャリア教育と、その成果としての進路希望実現	各教科、分掌との連携により基本的な学習習慣を定着させる	生徒の学力向上のために、各学年の進路目標に向けた課題と改善策について教職員間で共有し、進路検討会や模試分析会を活性化させる。	進路指導	安心して進路目標に挑戦できる学力と向上心を感じている評価値(教員)	3.5	3.2	91.4	B	模試結果情報の教員への提供が不十分であったのは次に反省すべき点である。1、2年次の学習事項の定着が十分でない生徒が受験前に勢いを失っていた様に感じている。学習意欲を高める工夫は今後も考え続けなければならない。ただ、与えられてやらされる勉強からの脱却は必要である。	B	自らが学習意欲を高める意識が持てるよう学習習慣を定着させるべきである。学校からは、これまでに適切な情報提供を行ってほしい。	模試結果情報を各教員へ提供できるよう学習意欲が向上するよう、生徒が自分の成績を客観的に把握していきう呼びかけていきたい。	
			5 生徒の学力向上と教員の指導力・授業力向上	生徒一人一人が自己肯定感を持って学校生活を送れるように、全教職員が共通理解を持ち、適切な指導・助言を行う。	人・同教	人権を尊重する意識を育てる指導が適切に行われていると感じている評価値(生徒・保護者)	3.5	3.2	91.4	B	キャリア教育、道徳教育、人権・同和教育の一体的な指導計画をもとにして日常的に取り組んだ。今後もその趣旨が学校全体に浸透するように、随時検証を行いながら取り組んでいきたい。	B	人権フェスタやボランティアにも生徒が積極的に参加してもらって喜んでいる。学校全体で共通理解し、引き続き進めていってほしい。	今年度の人権フェスタは、吹奏楽部がリモートで出演していただいたが、来年度はボランティアを含めて積極的に参加させたい。
6 確たる人権尊重の意識を持ち、自らを大切にし他者を思いやる心の育成	開かれた学校づくりに向けた広報活動の充実	生徒、教職員の人権意識を高め、地域との連携を深める	人権・同和教育に関するLHRと校内研修を開催し、個々が自分の在り方を振り返る機会を設ける。	人・同教	学校活動で人権を意識して行動する場面があったと感じている評価値(生徒)	3.5	3.4	97.1	B	北朝鮮に拉致された被害者に関するアニメを見るLHRや、同和地区出身者による講演会を実施し、参加者の資質向上に努めることができた。新型コロナウイルス感染症による差別がないように文書や掲示物を利用して働きかけた。	B	次年度以降も継続して講演会や校内研修に取り組んでほしい。	3年生に対して行った講演会は生徒の心に強く訴えかけるものがあり、感想文もしっかり書くことができた。次年度も継続したい。1、2年生や教職員に対しても実践的な研修になるように取り組んでほしい。	
			開かれた学校づくりに向けた広報活動の充実	総務	HPの月の更新数	3回	9.6回	320.0	A	コロナウイルス関連の情報に加え、各分掌や学年部からの協力情報を多く掲載することができた。来年度はHPをよりわかりやすく、魅力あるものにするため見直しをしていきたい。	A	引き続き、新しい情報の掲載に心掛けてほしい。	来年度も各部と連携し、最新の情報を掲載してきたい。	
			PTA・中の海会・その他諸団体との連携による学校教育に対する信頼の醸成	総務	本校の現状がわかるような情報が適切に提供されていると感じている評価値(保護者)	3.5	3.1	88.6	B	保護者への文書は、ピンク色の紙に印刷し、保護者が確認できるよう努めている。今年度は、急を要する連絡を、緊急連絡メールやHPで情報を発信することが多かった。情報発信の方法やメール登録のお願いを入入学予定説明会やPTA総会等を通して、確実に伝えていきたい。	B	緊急メールを月1回は活用するか、テキストメールを送るなどして常に使える状態しておく必要があると考える。	情報伝達が適切に行われるように、生徒や保護者ともに様々な場面をとりえて意識付けをするとともにテストメールなどを送り、常に使える状況であるかの確認をしていきたい。	
			PTA・中の海会・その他諸団体との連携による学校教育に対する信頼の醸成	総務	PTA総会の出席率(保護者)	100%	93%	93.0	B	今年度PTA総会は、コロナウイルスのため中止とし、書面による表決とし、書面表決書を提出していただく形で実施した。来年度も状況に応じて実施のあり方を考えていきたい。	B	書面表決で、特段問題なく実施できたが次年度の状況を鑑み、検討を続けてほしい。	その時の状況を考慮して、総会のあり方を検討していきたい。	
8 豊かな情操の涵養と、環境美化意識の徹底	図書利用のための広報活動の強化	朝の健康観察に基づく欠席者集計や保健室利用による生徒の状況把握と教職員への情報提供を徹底する。	健康診断・治療勧告や保健室での相談、健康の保持増進に役立ったと感じている評価値(生徒)	保健相談	健康診断・治療勧告や保健室での相談、健康の保持増進に役立ったと感じている評価値(生徒)	3.5	3.5	98.6	B	感染症に対する知識や感染防止の意義、また自身の健康に興味・関心をもたせよう、健康診断・健康観察の重要性を理解させるため引き続き取り組むたい。	B	感染症対策を行っていることで、インフルエンザも出ていない。引き続き対応をお願いする。	マスク、手洗い・消毒、換気などあらゆる感染予防対策を引き続き行っていく。	
			図書利用のための広報活動の強化	図書情報	生徒の読書活動を活性化している評価値(教員)	3.5	3.4	97.1	B	人が集まるイベントはやはりり面白かった。図書館だよりを中心とした活動になった。ブックレビューのデザインを生徒が興味を持つよう工夫したところ、紹介した本の貸し出しが例年より増えた。	B	これまでの活動を継続した上で、SNSを活用して情報発信してはどうか。	以前、生徒会とタイアップしてフェイスブックによる図書紹介を試みたが実現しなかった。フェイスブックにこだわらず、SNSを活用する方法を検討したい。	